

令和6年度 事業計画

自 令和6年4月 1日

至 令和7年3月31日

I 事業の重点目標

- 学校給食の振興を図り、児童生徒及び国民への食育を推進する活動をととして、児童または青少年の健全育成に寄与する。
- 学校における教育活動に根付いた食育の推進をととして、児童生徒の健全な育成と豊かな人間形成を目指し、あわせて、保護者をはじめ地域住民など広く国民の心身の健康に寄与する。
- 食育推進の中核である栄養教諭、学校栄養職員の資質の向上を図る。
- 食育推進に係る国の施策の遂行に協力するとともに、国民の健康増進に寄与するための事業を行う。
- 公益社団法人として、社会における役割と責任を自覚した活動を行う。

II 事業内容

公1. 食育の推進事業

(1) 学校給食週間行事の推進

学校給食週間では、学校給食の意義や役割を児童生徒や教職員、保護者、地域の方々の理解と関心を深めるための機会とし、食育活動を推進する。また、全国で行われている食育活動を収集して取り組み事例集を作成する。それを全国の栄養教諭等が共有し参考にする。

○期間 令和7年1月24日（金）～30日（木）

- 内容 ・学校給食週間中に行う児童生徒への啓発活動
- ・学校給食に関する保護者や地域の方々への広報活動
- ・学校給食週間中の取組事例集の作成・発行 8,600部（令和5年度実施分）
- ・全国で行われている食育活動の収集（令和6年度実施分）

(2) 食育推進リーフレットの作成・配布

本会事業を踏まえたリーフレットを食育推進全国大会や「早寝早起き朝ごはん」全国協議会開催イベント等で配布し、食育推進の啓発活動を行う。

(3) 食育月間事業 —第19回食育推進全国大会—

国の施策である食育月間における「食育推進全国大会」に参画し、啓発資料の配布、掲示、食育活動を展開し、広く国民の心身の健全な発達に寄与する。

○期日 令和6年6月1日（土）～2日（日）

○会場 ATC ホール（大阪府大阪市）

- 内容 ・啓発資料の配布、掲示 ・参加者対象の食育活動
- ・全学栄養製品及び全学栄養すいせん製品の紹介

(4) 関係団体への協力

食育の推進及び学校給食の振興、栄養教諭・学校栄養職員の資質向上に関連する他団体の事業に参画し、専門性に基づいた支援や意見提言を行う。

<関係団体>

・食育推進会議（農林水産省）

・「早寝早起き朝ごはん」全国協議会

「早寝早起き朝ごはん」全国協議会開催イベントでブースを出展し、リーフレットやレシピの配布及び食育体験活動を行う。

○期日 令和6年10月5日（土）

○会場 国立オリンピック記念青少年総合センター

○内容 ・食育体験活動 ・パネル展示 ・啓発資料の配布

○対象 親子

・全国地産地消推進協議会（農林水産省）

・（公財）日本学校保健会

・（公財）学校給食研究改善協会

全学栄製品及び全学栄すいせん製品等の食材を活用した調理研究事業に参画し、学校給食の献立内容を豊かにし、教材としての充実を図る資質を養う。

① 調理講習会（栄養教諭・学校栄養職員対象）

② 親子料理教室（児童生徒・保護者対象）

○実施期間 令和6年度

○内容 調理講習会・講演

・（一社）Jミルク

公2. 食育推進人材育成事業

（1）食育推進講習会

栄養教諭をはじめとする食育推進に関わる者及び今後食育に関わることを目指す学生等の専門的知識の修得と指導力の充実を図ることを目的として行う。

近年、学校における食育の推進の中核となる栄養教諭・学校栄養職員の専門的知識や技能の向上が求められ、食育の評価や栄養教諭の配置効果を見える形で示していく必要があることから、食育に関わるものの指導力の充実を図るコースを設ける。

【データ解析・論文コース】

○期日及び人数 令和6年10月25日（金）～27日（日） 80名

○会場 TKP 市ヶ谷カンファレンスセンター

○対象 本会会員及び一般参加者

【一般コース】

○期日及び人数 令和6年11月 9日（土）～10日（日） 200名

○会場 オンライン開催

○対象 本会会員及び一般参加者

（2）第60回学校給食夏季講習会

学校給食の食事内容を改善充実し、児童生徒の体力増進、食事に対する正しい知識とその実践を図るために必要な事項について研修を行い、栄養教諭・学校栄養職員の資質の向上と学校給食の振興に資する。

○期日及び人数 令和6年7月20日（土）～21日（日） 160名

○会場 オンライン開催

○対象 本会会員及び一般参加者

(3) 栄養教諭のためのカリキュラム検討委員会

持続可能な社会づくりに貢献する人材育成に資するため、学校における食と関連する環境教育プログラムを作成し、指導展開例をまとめ、各教科学習との関連を図る。

今年度は、新しい食育「持続可能な開発のための教育 一食で深める環境教育」として刊行し、栄養教諭等関係機関へ配布する。

○組織 栄養教諭のためのカリキュラム検討委員会

○刊行 新しい食育「持続可能な開発のための教育 一食で深める環境教育」 8,600部

(4) 都道府県代表者研修会

本会が取り組む食育を全国的に推進するための知識、手立てを共有し、会員相互の資質向上と食育推進のレベルアップを図る目的で開催する。

<1回> ○期日 令和6年7月31日(水)
○会場 メトロポリタン長野(長野県長野市)
○対象 本会会員の都道府県代表者

<2回> ○期日 令和6年12月5日(木)～6日(金)
○会場 ホテルルポール麴町(予定)
○対象 本会会員の都道府県代表者

(5) 第1回全国学校給食・栄養教諭等研究協議大会

学校における食育を推進する上で重要な役割を担う学校給食の在り方について研究協議を行い、学校給食関係者の資質の向上を図る。併せて学校における食育の推進に向けて、児童生徒に対する食に関する指導の在り方や学校給食の充実方策について研究協議し、栄養教諭・学校栄養職員の資質の向上を図ることを目的として開催する。

○期日 令和6年8月1日(木)～2日(金)
○会場 ホクト文化ホール(長野県長野市)
○対象 栄養教諭・学校栄養職員及び学校給食関係者

(6) 広報活動

本会事業の推進と成果及び調査研究結果等を会員及び広く不特定多数に対し開示するとともに、新たな情報やニーズを把握して随時リニューアルを図る。機関誌は会員他本会関係者にも配付する。

- ① ホームページの充実
- ② 機関誌「公益社団法人全国学校栄養士協議会報」の発行(第84号・第85号) 各8,800部

公3. 健康増進調査研究事業

(1) 食生活実態調査

児童生徒の健康増進に関する調査研究及び学校給食の振興に関する調査研究を行い、課題解決の具体的方策を検討する。あわせて、研究の成果を広く一般に公表する。

① 研究推進助成事業

- 内容 都道府県学校栄養士研究団体又は会員団体が行う食育に関わる研究を募集し、審査の上で助成する。
- 助成費 1年間、1都道府県10万円 3都道府県程度

○報告書 都道府県代表者研修会等で研究の成果を発表するとともに、機関誌やホームページに掲載する。

② 食育推進実態調査

1) ○内容 食育推進状況を把握し、指導に活かすための手立てについて研究する。また、その結果を会員に報告し、今後の取組に役立てる。

ICT 活用のためのデータを収集する。

2) ○内容 文部科学省委託事業「食に関する健康課題対策支援事業」により、栄養教諭が行う個別的な相談指導の定着を図るための実践事例集を作成し、都道府県教育委員会及び指定都市教育委員会に配布する。

○刊行 食に関する個別的な相談指導実践事例集

(2) 栄養・衛生・安全管理の徹底を図る事業

学校給食における食中毒防止の徹底を図るため栄養教諭、学校栄養職員が小グループ研究班を編成して学校給食施設を訪問し、衛生管理体制等の現状把握と点検を行う。点検、協議の結果からその改善点を見だし、衛生管理の徹底を図ることを目的とする。

○実施期間 令和6年度

○対象 全国学校給食施設

○方法 小グループによる研究授業方式をとった研究実践（点検・記録・協議）

○報告書 8,600部（令和5年度実施分）

(3) 学校給食用食品の研究開発

学校給食への優良な物資の供給を図ることをとおして、学校給食の振興に寄与し児童生徒の心身の健康に資することを目的とする。

① 災害時における非常食の開発

災害発生による非常時においても、成長期の子供たちに栄養バランスのとれた食を提供することができるために、災害時学校給食用非常食を開発し、子供たちの心身の安定と体力保持に寄与することを目的とする。

○組織 災害時学校給食用非常食開発委員会

○普及活動

・サンプル配布（救給おいものリゾット）

・啓発チラシの作成、配布（救給ゴロゴロ野菜の煮物活用例リーフレット、救給おいものリゾット広報用リーフレット）

② 全学栄製品及び全学栄すいせん製品の選定と献立研究

下記の要件を満たすものを、全学栄製品及び全学栄すいせん製品とし、本会が定める判定基準に沿って、随時選定、見直しを行い、給食内容の充実に資する。

（全学栄製品及び全学栄すいせん製品）

「全学栄製品」

・本協議会が学校給食用食品のアイデアを会員に公募し、開発製品化に至ったもの。

・本協議会で学校給食用食品について討議開発し、製品化に至ったもの。

「全学栄すいせん製品」

・各都道府県学校栄養士協議会で開発された学校給食用食品を本協議会で討議し、製品化に至ったもの。

- ・本協議会及び各都道府県学校栄養士協議会以外で独自に開発された製品の内、学校給食用食品として適したものを本協議会で討議し、製品化に至ったもの。

Ⅲ 会議

総会・理事会・都道府県代表者を下記のとおり開催する。

会議名	回数	期 日	内 容
理事会	第1回	令和6年 5月18日(土)	定時総会の開催について 令和5年度事業報告及び収支決算
都道府県代表者会	第1回	令和6年 6月 6日(木)	令和5年度事業報告及び収支決算
定時総会	第51回	令和6年 6月 7日(金)	令和5年度事業報告及び収支決算
理事会	第2回	令和6年 6月 7日(金)	令和6年度事業推進計画
理事会	第3回	令和6年 7月31日(水)	事業報告
理事会	第4回	令和6年10月20日(日)	事業報告及び令和7年度事業計画
理事会	第5回	令和6年12月 5日(木)	事業報告及び令和7年度事業計画
理事会	第6回	令和7年 2月15日(土)	令和7年度事業計画及び収支予算
理事会	第7回	令和7年 3月 5日(水)	事業報告
都道府県代表者会	第2回	令和7年 3月 5日(水) ～ 6日(木)	令和7年度事業計画及び収支予算